

令和元年度補正予算要求状況の公表に係る県民意見と反映状況

「令和元年度補正予算」要求状況に対し、県民の皆様からいただいたご意見の概要、それに対する県の考え方及び予算への反映状況は次のとおりです。

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況	所管課
1	<p>大分空港は大分駅から遠く、様々な人から利用しづらいと言われるのは確かです。そのためホーバークラフトの復活を考えているようですが、過去に撤退した経緯もあり、同じ轍を踏まないか心配です。また、雨の日などは欠航や、激しい揺れなどもあり、利便性が向上するのでしょうか。</p>	<p>大分空港のアクセスについては、平成21年にホーバークラフトが運休して以降、空港バスで約60分かかるとい状況が続いていますが、大分空港の利用者数が年間約200万人近くまで回復する中で、利便性を高める取組が必要と考えています。</p> <p>県では、昨年度、大分空港のアクセス改善に向けて、空港までの海上アクセスの実現可能性について調査を行い、高速船とホーバークラフトについて実現が可能との結果を得ました。今年度は、この調査結果を踏まえ、継続的に運航するための運航コスト低減や周辺環境への影響などの課題について検討を行うこととし、今回の補正予算で必要な調査費を要求しています。</p>	交通政策課
2	<p>現在、子どもを一人育てています。育休明けに、短時間勤務を取得したいと考えていましたが、会社に申し出にくく、結局フルタイムで復帰し、肉体的にも精神的にも疲れています。</p> <p>二人は産みたいと考えていますが、仕事も忙しく、経済的にも余裕があるとは言えないので、二人目を産むかどうか悩んでいるところです。</p> <p>夫婦が望んだ人数を産み、子育てと仕事を両立していけるよう、県として支援してもらいたいです。</p>	<p>希望の子ども数の実現のためには、仕事の忙しさと経済的負担の軽減が急務の課題です。</p> <p>そこで、育児短時間勤務を初めて従業員に取得させた中小企業事業主に奨励金を支給し、子育てのためのゆとりある働き方を選択できる環境整備を進めていくこととしています。</p> <p>また、育児短時間勤務から続けて次の子の育児休業を取得した場合の育児休業給付金の減額分（フルタイム勤務であれば受給できた額との差額分）を支給し、経済的負担の軽減を図りたいと考えています。</p>	子ども未来課
3	<p>先日、街で見かけた工事看板に書かれた絵が障がいのある方の書いたものとなりました。昨年は障がい者の文化祭も開催されましたが、障がいのある方が書いた絵はまだまだ皆さんに知られていないと思います。しっかり応援することが大事だと思いますが、県はどのように考えていますか。</p>	<p>昨年開催された全国障害者芸術・文化祭では、県内全市町村で障がい者の作品展やステージ等が実施されたことで、各地で障がい者アートへの関心が高まりました。</p> <p>また、障がいのある方も劇場や美術館を訪れることでアートを通じた社会参加の促進が図られたところです。</p> <p>このような動きを文化祭の成果として継承・発展させるため、障がい者アートの創作に取り組む福祉事業所等への相談支援や、障がいのある方の芸術文化活動の発表や鑑賞の機会提供を行う体制を整備したいと考えています。</p>	障害者社会参加推進室
4	<p>補正予算要求の主な事業概要に記載のあります、防災意識向上疑似体験啓発事業についてお尋ねします。昨今、各地で地震や豪雨が観測されている中、防災対策を考えるうえで、被災状況を疑似体験できることは、とても重要だと考えます。すでに地震体験車もあるとのことですので、ぜひ地震に加え他の自然災害を疑似体験できるツールの作成を望みます。</p>	<p>災害から身を守るためには、「避難する」ことが重要と考えます。「避難する意識」を醸成するために、VR技術を活用した災害発生時の映像を作成し、住民の皆さんの災害・防災に対する関心を深めるとともに、イメージと知識の習得を図ってまいります。</p> <p>また、作成する映像については、地震・津波に加え、土砂災害や浸水害、火災などのコンテンツも検討しています。</p>	防災対策企画課
5	<p>昨年は人工衛星「てんこう」の開発に県内中小企業が携わるなど輝かしいニュースがありました。補正予算では新しい技術を進める取組をさらに加速化するのでしょうか。</p>	<p>本県は中小企業・小規模事業者が企業数の99パーセントを占めており、生産性向上や人手不足が喫緊の課題となっています。また、人口減少や地域課題に対応するため、「先端技術への挑戦」に本予算でも力を入れています。アバター等による先駆的なプロジェクトに挑戦するとともに、IoTやAI、ロボット、ドローン等の先端技術を活用し、地域課題や人手不足の解決、生産性向上等につなげる大分県版第4次産業革命「OITA 4.0」の加速に取り組めます。</p>	工業振興課 新産業振興室 情報政策課

番号	ご意見の概要	県の考え方及び反映状況	所管課
6	<p>乾しいたけは「もどす」作業に時間がかかり、ひとつずつのしいたけを料理の前にもどして使うのは、若い人には受入れられないように思います。</p> <p>もちろん、立派な乾しいたけを生産する技術も重要とは思いますが、消費される、売れるという観点からみると、使い勝手が悪いと思います。</p> <p>乾しいたけにスポットライトが当たっているので、ぜひ売り方を研究してください。</p>	<p>本年に入り多くのテレビ番組で乾しいたけの機能性やうまみ成分について取り上げられています。</p> <p>この好機を活かし、これまでにない新しい売り方・PR方法、食べ方の提案などにより需要創出を図っていきます。</p> <p>また、今年開催されるラグビーワールドカップでは国内外から多くの方が来県されるため、多くの方に親しんでもらえるよう、公式ファンゾーンへの出店やフェアの開催などの支援に取り組んでいきます。</p>	林産振興室
7	<p>近年、全国的に大雨や台風による河川の氾濫や土砂崩れ等の災害が多発しています。</p> <p>災害を未然に防ぐための対策工事については、県内各地で順次行っているようですが、小規模な箇所も含めて、これまで以上にしっかりと対策をしていただきたいです。</p>	<p>県では、頻発・激甚化する自然災害に備えるため、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」も活用しながら、防災・減災対策をハード・ソフトの両面からスピード感をもって進めることとしています。</p> <p>併せて、国の補助事業の対象とならない中小河川やがけ地などについても、きめ細やかに対応し、県土の強靱化を加速前進させていきたいと考えています。</p>	河川課 砂防課
8	<p>姫島村において、IT企業や人材を呼び込み、ITによる地域課題の解決や、新たな雇用の場と活力の創造を目指す「姫島ITアイランド構想」を推進しているという記事を新聞やテレビで見ました。</p> <p>国もSociety 5.0を推進しており、今後ますますIT関係の教育が重要となると思います。</p> <p>IT企業が進出している姫島村で、IT関係の教育を充実させるとよいのではないのでしょうか。</p>	<p>姫島村において進めているITアイランド構想により、IT企業が進出し、村民や子どもたちにとってITが身近になっています。</p> <p>国においては、「第3期教育振興基本計画」の中でICT利活用のための基盤の整備を掲げ、各教科等におけるICT活用の促進を図っているところです。</p> <p>このようなことから、子どもたちの学習に対する興味関心の向上、情報活用能力等の育成を図るため、姫島ITアイランド構想を進める村の小・中学校においてICTを効果的・効率的に活用した授業を推進することができるよう、予算を要求しているところです。</p>	義務教育課